

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
地域福祉の理論と方法 I Community Development I		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(社会福祉士国家試験受験資格取得 必修)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
中島 佳子	栄養棟3階	授業時に説明します。		授業中に指示します
授業の概要				
社会福祉基礎構造改革や社会福祉法の施行により、今後の社会福祉の原点は地域福祉にあるとされ、法的にも位置づけられている。少子高齢社会が進む現代社会において地域福祉の推進は重要であり、社会福祉の専門職である社会福祉士の担う役割は大きいといえる。本科目では、地域福祉を理解するために、地域福祉の基本的な考え方・歴史的発展過程・理念と概念・社会福祉サービス等を学習する。				
授業の目標				
①地域福祉の領域や対象を説明できるようにする。 ②地域福祉の発展過程を通して、地域福祉の重要性を説明できるようにする。 ③社会福祉サービスと地域生活をつなげて捉えることができるようにする。 ④地域福祉を構成する人材の活動と連携を概説できるようにする。				
授業の方法				
テキストと視聴覚教材、関連資料を使用した講義方式とする。 理解を深めるためにグループワークまたは個人ワークを取り入れることもある。				
学習の成果（学習成果）				
地域福祉の基礎的な考え方・理論について、その意義と機能に関する概要を述べることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（シラバスの説明）、授業中の諸注意等			
第2回目	身近な福祉① 地域福祉とは何か			
第3回目	地域福祉の歴史と展開① 諸外国の展開			
第4回目	地域福祉の歴史と展開② 日本の展開			
第5回目	地域福祉の概念と理念① 地域福祉理論の展開			
第6回目	地域福祉の概念と理念② 地域福祉の提唱者			

第7回目	地域福祉の理念と概念③ 地域福祉の構成要素、コミュニティ	
第8回目	地域福祉の理念と概念④ 人権擁護、権利擁護、自立支援	
第9回目	地域福祉に関わるサービスと活動① 居宅サービスと地域生活	
第10回目	地域福祉に関わるサービスと活動② 施設サービスと地域生活	
第11回目	地域福祉に関わるサービスと活動③ インフォーマルサービス、当事者活動	
第12回目	地域福祉に関わる人材① ビデオ学習「コミュニティソーシャルワーカー」【課題 感想レポート】	
第13回目	地域福祉に関わる人材② 地域福祉の主体、担い手、専門職	
第14回目	地域福祉に関わる人材③ 住民、組織	
第15回目	まとめ、国家試験対策	
事前・事後学習	事前学習：テキストの該当ページを読んでくること。 事後学習：授業で学んだことを居住する地域に当てはめて、地域の課題を考えておくこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	以下の視点で判断する。履修上の留意点を遵守し、遅刻なく準備を整え授業に臨み、必要なことはノートを取り、学んでいること。講義・演習に積極的に取り組んでいること。
レポート	10%	第12回のビデオ学習レポートを評価する。評価Sは、ビデオの内容を授業と結びつけ、地域で活動する専門職や人々や生活をイメージできたか。
調査報告書		
小テスト		
試験	60%	選択形式、穴埋め、記述問題等で出題し、知識及び内容の理解を確認する。記述式のS評価は授業で学んだ知識を用いて、エビデンスに基づき、自分の言葉で意見が述べられていること。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
「よくわかる地域福祉」上野谷加代子他編 ミネルヴァ書房		
履修上の留意点・ルール		
私語、携帯電話の使用を禁止する。授業に関係のないもの（携帯電話、食べ物、飲み物、化粧品、手帳）はかばんにしまうこと。 配布資料のデジタル化禁止。他者に迷惑をかける行為があった場合は、退出させることがある。		